

土地改良事業計画書

1. 目 的

本地区の水路を整備することにより農業の振興、農業用水の安定供給と集落及び地域の活性化を図る。

2. 地域、地籍及び現況

(1) 所 在 高松市一宮町 地内

(2) 地 積 受益面積 0.8 ha 関係戸数 5 戸

(3) 現 況 当地区は、高松市一宮町の南部に位置した、水田地帯であり、水稻が中心の営農であり、地区の水路は、要幹線水路であるが勾配不均整な上、老朽化が進んでおり、通水困難となり円滑な配水に苦慮している。

3. 一般計画

- ・ 本地区の1戸当たり平均耕作面積は16アールで、生産基盤が未整備である。
- ・ 水路の整備をすることにより、地域農業の振興と生産性向上のため、維持管理の軽減を図る。
- ・ 県道12号三木国分寺線南方の水田地域であり、緑豊かな田園地帯であることから、周辺の環境に配慮した整備とする。

4. 主要工事計画

(1) 水路延長 22 m 起点：高松市一宮町1541-16

終点：高松市一宮町1541-13

(2) 水路断面 $B = 0.55 \text{ m} \times H = 0.40 \text{ m}$

(3) 構 造 現場打L型水路 $L=22\text{m}$

5. 付帯工事計画

該当なし

6. 工事の着工及び完了予定期間

着 工 令和8年10月1日

完 了 令和9年3月15日

7. 環境との調和への配慮

本地区における環境との調和への配慮は、自然の生態系を保全しつつ、農地の持つ多面的機能や自然環境を維持するよう整備を進める。

8. 本施設の維持管理

本施設の維持管理については、高松市一宮土地改良区において管理する。

9. 事業費の総額及び内容

(1) 事業に要する費用

区 分	金 額 (千円)	備 考
工 事 費	2,200	
用地買収補償費	0	
測 量 試 験 費	500	
工 事 雑 費	-	
事 務 費	-	
計	2,700	10a当りの事業費 337,500 円

(2) 資金計画

区 分	金 額 (千円)	備 考
補 助 金	国 補 助 金	-
	県 補 助 金	1,404
	市 補 助 金	1,215 事業費の45%
	小 計	2,619
地 元 負 担 金	受 益 者 負 担 金	81
	借 入 金	- 農林漁業資金 利率 償還期間 賦課基準
	小 計	81
	計	2,700

10. 事業効果

区 分	金 額 (千円)
作 物 生 産 効 果	286
維持管理節減効果	68
走行費用節減効果	0
そ の 他	-
年 総 増 加 額 計	354
廃 用 損 失 額	-

n : 40 総合耐用年数
 T : 1 事業着手から効果発生年数、
 i : 0.04 割引率
 資本還元率 : $i(1+i)^n / (1+i)^n - 1$
 建設利息率 : $0.03 \times 0.4 \times 0.065 \times T$
 農家負担率 : 0.03

$$\begin{aligned}
 \text{妥当投資額} &= \text{年総増加額計} \div [\text{資本還元率} \times (1 + \text{建設利息率})] - \text{廃用損失額} \\
 &= 354 \div [0.0505 \times (1 + 0.00078)] - 0 \\
 &= 7,004
 \end{aligned}$$

$$\text{投資効率} = \text{妥当投資額} \div \text{総事業費} = 7,004 \div 2,700 = 2.59$$

※投資効率の基準値は1.00以上とする。

11. 計画図

(1) 位置図

別紙のとおり

(2) 平面図

別紙のとおり

(3) 標準断面図

別紙のとおり

事業主体	高松市一宮	土地改良区
地区名	竹林	地区
事業費	2,700	千円
工種	水路	
工事延長	22	m
受益戸数	5	戸
受益面積	0.8	ha
維持管理費	2,500	円/10a
農家負担率	0.03	
耐用年数	40	標準値表より

 ← 入力

 ← 選択

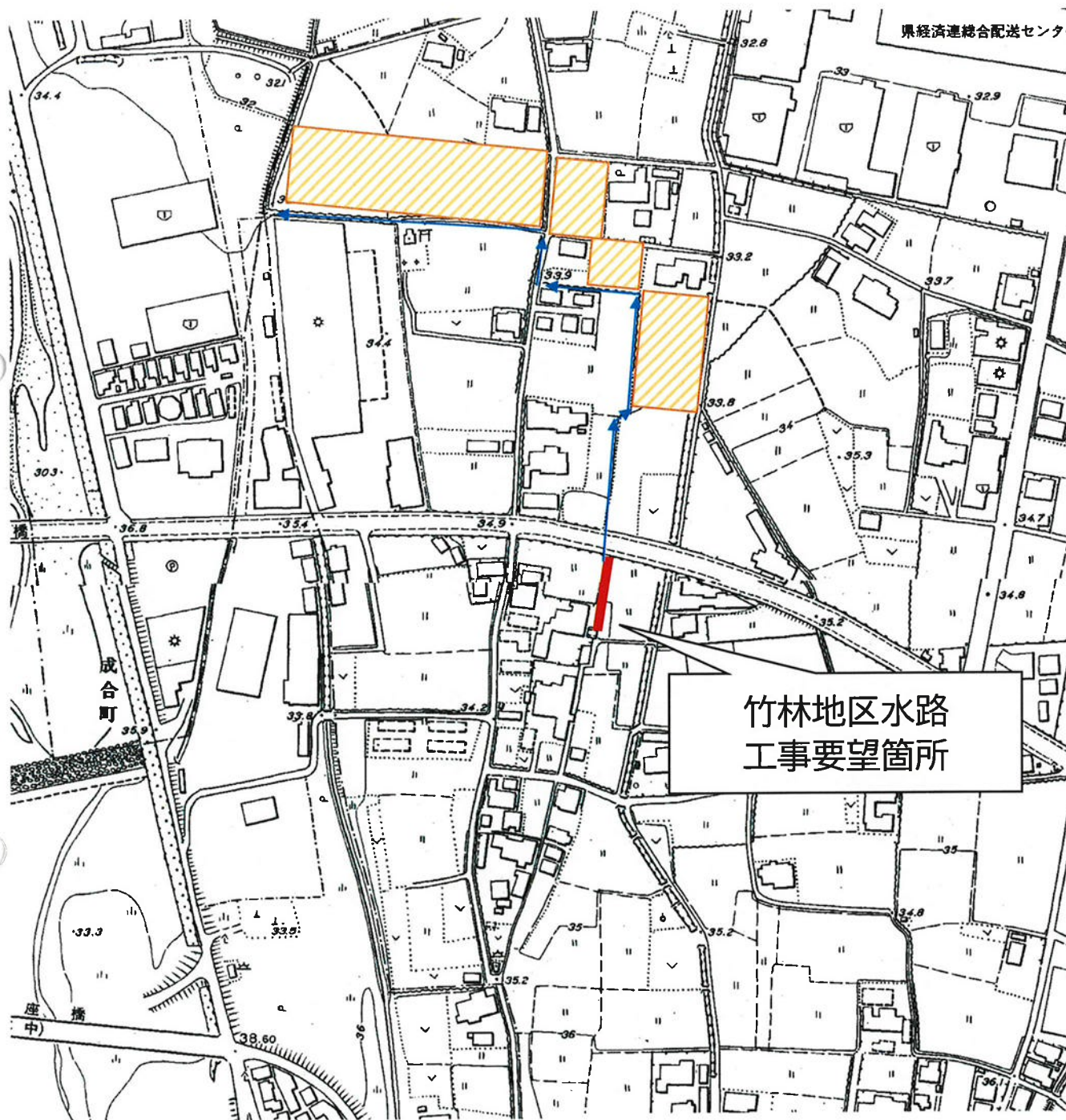
＜作物生産効果＞

＜維持管理節減効果＞

[illegible]

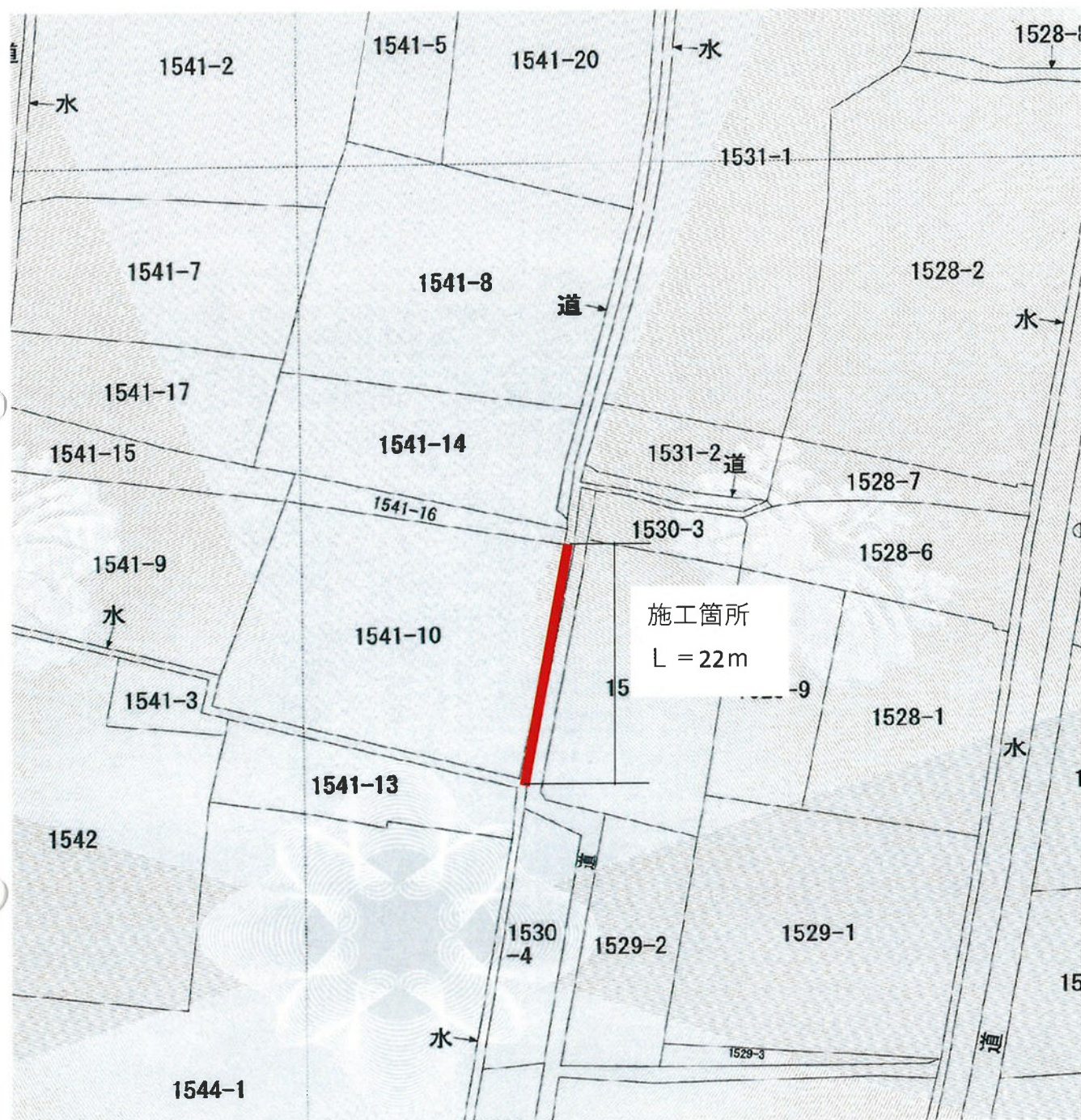
竹林地区水路 受益図

受益 A=0.8ha (5戸)



竹林地区水路 平面図

1 : 500



令和8年度 単独県費補助土地改良事業

竹林地区（水路） L=22m



標準断面図

S=1:50

